

# PRSJ NEWS

2024年8・9月合併号 No.365



PRSJで開催されたセミナーやイベントの様子

## TOPICS

### MESSAGE

Win-Win-Win を、私に、あなたに、世の中に。

副理事長 眞野 昌子

P3

### BULLETIN

緊急記者会見シミュレーション・トレーニング開催レポート

P10

第47回広報ゼミ開催報告「企業のサステナビリティとコミュニケーション」(会員限定)

P11

講演レポート 第231回定例研究会(正会員・個人会員限定)

P12

メディアの興亡 24年夏～日刊工業新聞社編～

日刊工業新聞社 取締役 ブランドコミュニケーション担当 明 豊(あけ ゆたか)氏



公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

発行人：理事長 山口 恭正

# 目 次

7月~8月スケジュール		P1
MESSAGE(メッセージ)	Win-Win-Win を、私に、あなたに、世の中に。	P3
ATTENTION(お知らせ)	8月入会の皆様のご紹介	P4
〃	「PRアワードグランプリ 2024」エントリー受付中!	P5
〃	第36回2次試験の仮申込みは10月25日(金)まで	P7
BULLETIN(活動報告)	3次試験を7月27日・28日で実施新たなPRプランナー誕生!	P8
〃	1次試験を8月10日~25日実施515名が合格!	P9
〃	緊急記者会見シミュレーション・トレーニング開催レポート	P10
〃	第6回「企業部会総会」開催報告(会員限定)	P11
〃	第47回広報ゼミ開催報告(会員限定) 「企業のサステナビリティとコミュニケーション」	P11
〃	第52回「PRスキル研究会」開催報告(会員限定) 「広報×AIの最新潮流を学ぶ~PR業務に生成AIをどう活用するべきか~」	P12
REPORT(講演レポート)	第231回定例研究会(正会員・個人会員限定) メディアの興亡24年夏~日刊工業新聞社編~ 日刊工業新聞社 取締役 ブランドコミュニケーション担当 明豊(あけゆたか)氏	P12
PRSJ in MEDIA	協会掲載記事	P13
PLAZA(会員情報)	会員便り	P14
事務局だより		P15

## 9～10月 セミナー・イベント スケジュール

### 【オンデマンド視聴】

PRプランナー1次試験対策講座	講師	： (株)井之上パブリックリレーションズ 横田和明氏他、全4名
PRプランナー2次試験対策講座	講師	： 三菱UFJフィナンシャル・グループ 飾森亜樹子氏他、全12名
PRプランナー3次試験対策講座	講師	： (株)グッドパッチ 高野祐樹氏他、全4名

### 【オンデマンド視聴】

PR集中テーマスタディ<第2回>	日時	： 2023年11月22日(水)～2024年11月22日(金)
	テーマ	： 戦略的コーポレートコミュニケーションの新展開
PR集中テーマスタディ<第3回>	日時	： 2024年2月21日(水)～2025年2月20日(木)
		： ブランディングを実現する最新PR戦略

### 【オンデマンド視聴】

第230回定例研究会	日時	： 2024年7月26日(金)～12月31日(火)まで
	テーマ	： NHKがめざすこれからの報道～今春の番組改編にみるNHK報道の方向性～
	講師	： NHK報道局専任部長 取材センター長 編集主幹 山口 学氏

### 【対面】

第232回定例研究会	日時	： 2024年9月18日(水) 14:00～15:20
	会場	： ビジョンセンター有楽町「303」
	テーマ	： 解剖 朝日新聞経済部
	講師	： 朝日新聞東京本社 経済部長 円満 亮太氏

### 【オンデマンド視聴】

日時 : 2024年10月下旬～(予定)

### 【対面】

関西部会主催 第292回定例会	日時	： 2024年9月27日(金) 18:00～19:30
	会場	： グランフロント大阪/北館7階ナレッジキャピタル
	テーマ	： メタバースによる新しい広報戦略
	講師	： G1 company 代表取締役社長 小柴恵一氏

## 9月～10月の理事会・委員会・部会スケジュール

◇定例理事会	(9月度)	日時	: 9月12日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
	(10月度)	日時	: 10月10日(木)	16:00～17:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇教育委員会	(9月度)	日時	9月19日(木)	16:00～17:00
		会場	事務局+オンライン開催	
◇資格委員会	(9月度)	日時	: 9月26日(木)	14:00～15:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇国際・交流委員会	(9月度)	日時	: 9月6日(金)	15:30～16:30
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇広報委員会	(9月度)	日時	: 9月26日(木)	16:00～17:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇顕彰委員会	(9月度)	日時	: 9月18日(水)	16:00～17:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇企業部会幹事会	(9月度)	日時	: 9月4日(水)	17:00～18:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	
◇PR業部会幹事会	(9月度)	日時	: 9月17日(火)	16:00～17:00
		会場	: 事務局+オンライン開催	

## Win-Win-Win を、私に、あなたに、世の中に。



公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会  
副理事長 眞野 昌子

(日本マクドナルド(株) 広報部 インターナルコミュニケーション部 部長)

クライアントや上司の高い期待への対応や、行ったり来たり of 社内調整に日々汗をかいている PR 会社や事業会社の広報部の皆さん。「Public Relations (以後 PR)」の仕事のどこが魅力的で、何が楽しいんでしょう？

私は、これまで 20 年以上、PR 代理店と事業会社で PR の仕事に携わっていることを、とても幸せなことだと思っています。

PR の魅力は、ものごとの最前線にいられることです。変化の速い社会の「今」の動向を理解し、ダイナミックに進化する企業活動の最前線にいる必要があります。もう一つの魅力は、社会と企業（や事業体）の両方を理解した上で、コミュニケーションで世の中を良くするクリエイティブでプロフェッショナルな仕事であることです。

一方通行では無く、コミュニケーションをする相手と双方向の対話が求められていますし、共通のゴールを見つけて、会社と消費者と社会の、win-win-win を作り上げるための「技」が求められます。社会を良くする、という前向きなパワーを根底に、さまざまなステークホルダーを巻き込んで信頼関係を構築し、一緒に違いを生み出していくところに、難しさと面白さがあります。

会社の商品やサービスを消費者に知ってもらい、できるだけ多く届けることのプレッシャーや、良いニュースばかりではない現実を、立場の違う一人ひとりに効果的に伝えるための議論や関係者間の調整にご苦労をされている方も多いと思いますが、難易度が上がるのはプレーするステージが上がっているから。全力を尽くして、新しいことにも勇気を持って挑戦していく価値のある仕事だと思います。

PRSJ や、広報業界の皆さんのお力で、PR は、単に情報を拡散する作業ではなく、戦略的な事業活動における重要な役割として認められつつあります。一方で、その奥深さや可能性についてもっと広く理解を得ることで発動できる大きなパワーが潜んでいると感じています。「PR がいかに重要なプロの仕事か」という認知を上げていくのは、実際に現場で仕事をしている私たちしかいません。

PRSJ には、好奇心があって、行動力があって、人が好きで、ちょっと話が長い、そんな広報パーソンが集まっています。会員の皆さんが、お忙しい日々の中で汗をふきつつ、ふと考え込んでしまう時には、いつでも気軽にイベントに参加したり、アドバイスを求めたりできる、そういう場でありたいと思います。秘密道具のようなアイデアが湧いてきて、魔法のように元気が出るかも！自身の成長という、もう一つの win も一緒に重ねていきましょう。

PR 業務に携わる皆さんのご活躍に感謝と、更なる PR の発展にワクワクしています。

新規入会の会員（正会員）のみなさまの「自己紹介」ページです。今回は、8月にご入会いただきました正会員（掲載希望社）をご紹介します。

### 三井倉庫ホールディングス株式会社



はじめまして。三井倉庫ホールディングス 経営企画部広報室です。三井倉庫グループは1909年の創業以来、物流業を通じて社会をとめることなく、進化をつないできました。社名に「倉庫」とあることから倉庫会社のグループと思われるかもしれませんが、陸・海・空のフルスペックの物流機能と、川上から川下まで幅広いバリューチェーンの領域を担うことができる総合物流企業グループです。

PRSJ を通じて様々な業界の皆様と交流をさせていただき、広報活動の幅を広げていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

## 「PRアワードグランプリ 2024」エントリー受付中！ 最終締切は 10 月 16 日(月)17:00(必着)です

顕彰委員会

8月20日(火)から「PRアワードグランプリ 2024」のエントリー受付を開始しています。最終受付の締切りは10月15日(火)17:00(必着)です。皆さまからのエントリーを、心よりお待ちしております。

### 「PRアワードグランプリ 2024」応募概要

<後援> : 経済産業省、日本広報学会、公益社団法人 日本広報協会

<エントリー案件> : 企業・団体が実施または参加したコミュニケーション活動であり、活動開始時期に関わらず直近1年間に成果があがったもの。

※現在継続している活動を含む

※過去にエントリーした案件も、上記条件に当てはまれば再度エントリー可

<成果イメージ> :

- コーポレート・レピュテーションの向上
- マーケティング面における貢献
- ソーシャルグッドによる新たな意識・行動の実現
- 日本や世界のパブリックリレーションズの価値向上や新たな手法解決に貢献する活動

<エントリー方法> : 「PRアワードグランプリ 2024」のエントリーフォームに必要事項を入力し、作成した既定のエントリーシートを添付して登録。

<エントリー料> :

- 25,000円(税込) / 1エントリー(振込み手数料別途)

※2024年9月16日(月)～10月15日(火)17:00必着

<審査について> :

審査委員長と9名の審査委員の計10名で構成。審査委員全員が一堂に会して議論形式の審査会を開催。全エントリーに対し厳正な審査を行い、「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の各賞を決定いたします。

なお、顕彰委員会及び審査委員の協議により、上記の賞以外の表彰を行う場合もございます。

#### 1. 一次審査(11月14日(木)予定)

審査委員が全エントリーを審査し、上位エントリー(10組程度)を決定いたします。

#### 2. グランプリ審査(12月2日(月)予定)

一次審査で決定した上位エントリー(10組程度)によるエントリー内容の説明(1組10分程度)と審査委員からの質疑応答のセッションを実施し、全てのセッション終了後、「グランプリ」、「ゴールド」、「シルバー」各賞を決定いたします。審査終了後、審査結果をご担当者様にメールにてご連絡いたします。

<表彰式について>

12月11日(水)、全受賞エントリーに対し表彰式を開催。また、シルバー以上の受賞エントリーにつ

## Attention (お知らせ)

いは、一般公開のためプレゼンテーションを行っていただきます。

日時：2024年12月11日（水）16:30～20:00（予定）

※表彰式の詳細は、11月下旬にご担当者様にメールでご案内いたします

<ご参考>

その他アワードに関する記事やWebページのご案内

◆アワード応募概要

<https://prsj.or.jp/pr-award/>

◆過去の受賞事例

<https://prsj.or.jp/pr-award/list/>

◆協会 SNS でアワード情報も更新中

X (旧 Twitter) : <https://twitter.com/PRSJinfo>

Facebook : <https://www.facebook.com/prsj1>

**PRプランナー資格認定制度／検定試験****第36回2次試験の仮申込みは10月25日(金)まで  
—試験期間は、11月9日(土)～17日(日)—****資格委員会**

2024年度後期(第36回)2次試験の申込みを受付中です。仮申込み締切りは10月25日(金)、試験はCBT方式で、試験期間は11月9日(土)～11月17日(日)の9日間で実施します。

2次試験では、試験勉強を通して広報・PRに関する実務に関する専門知識が履修できる内容となっております。また時事問題の履修は、世の中で起きている出来事を常に意識し、テレビや新聞、インターネット等で情報収集することによって、自社の企業価値を高めていくための目標や課題を、広報・PR実務に結び付けていく第一歩にも繋がります。

この機会に、ぜひ受験をご検討いただければ幸いに存じます。

**【PRプランナー資格認定制度／検定制度 第36回2次試験 実施概要】**

試験期間	<b>2024年11月9日(土)～11月17日(日)</b>
仮申込み期間	<b>2024年10月25日(金) 23:59まで</b> ※PRプランナー資格制度 Web サイトでのお申込みとなります。(本申込に必要な受験コードを取得)
本申込み期間	<b>2024年11月1日(金) 23:59まで</b> ※CBTS Web サイトでの本申込みとなります。(受験日時・会場選択、受験料のお支払い) ※CBT方式のPRプランナー試験を初めて受験する方のみ、CBTS Web サイトにユーザー登録が必要となります。
合否発表	2024年11月27日(水) 正午
受験資格	1次試験合格者(1次試験に合格されていれば、PRプランナー補の資格を取得していない方も受験できます。)
試験科目	科目A: 企業経営と広報・PRに関する知識 科目B: マーケティングと広報・PRに関する知識 科目C: コミュニケーションと広報・PRに関する実務知識 科目D: 時事問題(今回の出題範囲は、2024年4月～2024年9月末までの6ヵ月となります。)
試験時間	科目A+B 80分、トイレ休憩をはさみ 科目C+D 80分
試験出題数	各科目25問、全100問
合格基準	全出題数に対して正答率65%以上、かつ各科目の正答率がいずれも50%以上で合格とします。 (全出題数に対して正答率65%未満の場合、もしくは1科目でも正答率50%未満の場合は不合格となります。)
対応公式テキスト	広報・PR実践(2024～2025年度版)

試験スケジュール等、詳細につきましては、下記のPRプランナー資格制度 Web サイトでご確認ください。お願い申し上げます。

PRプランナー資格制度 Web サイト: <https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>



## 第 35 回 P R プランナー 資格認定検定試験

### 3 次試験を 7 月 27 日(土)・28 日(日)で実施

### 130 名が合格し、9 月には新たな P R プランナー 誕生！

### 資格委員会

2024 年度前期（第 35 回）P R プランナー 資格認定検定試験 3 次試験が、7 月 27 日（土）と 7 月 28 日（日）の 2 日間で実施しました。今回の試験では、402 名の仮申込、354 名の本申込があり、そのうち 326 名（出席率 92.4%）が受験、合格者は 130 名（合格率 39.9%）となりました。

3 次試験では、2 日間の試験日から受験者は選択し受験。試験問題は試験日毎に異なり、ニュースリリースの作成と広報・P R 計画の立案の 2 つの課題を、2 時間の試験時間で回答します。

今回の第 35 回までの累計で、受験者は 7,443 名、合格者は 3,591 名、合格率平均は 48.2% となりました。合格者は 9 月に行われる申請を経て、PRSJ 認定 P R プランナー 認定になります。

ご協力いただきました関係者の皆様、大変ありがとうございました。

なお、今回の受験者、および合格者の受験者プロフィールは次の通りです。

#### <第 35 回 3 次試験 業種別／年代別合格率>

		P R 業/ P R 関 連業	一般企業 (広報 P R 関連)	一般企業 (その他)	各種団体	教育機関	自治体	その他	全体
男 性	受験者	30 名	75 名	23 名	6 名	3 名	5 名	5 名	147 名
	合格者	16 名	26 名	5 名	4 名	1 名	3 名	2 名	57 名
女 性	受験者	25 名	129 名	13 名	4 名	2 名	3 名	3 名	179 名
	合格者	9 名	52 名	5 名	2 名	1 名	2 名	2 名	73 名
全 体	受験者 (全体比)	55 名 (16.9%)	204 名 (62.6%)	36 名 (11.0%)	10 名 (3.1%)	5 名 (1.5%)	8 名 (2.5%)	8 名 (2.5%)	326 名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	25 名 (19.2%)	78 名 (60.0%)	10 名 (7.7%)	6 名 (4.6%)	2 名 (1.5%)	5 名 (3.8%)	4 名 (3.1%)	130 名 (100.0%)
	合格率	45.5%	38.2%	27.8%	60.0%	40.0%	62.5%	75.0%	65.9%

		20 代	30 代	40 代以上	全体
男 性	受験者	15 名	45 名	87 名	147 名
	合格者	7 名	18 名	32 名	57 名
女 性	受験者	30 名	84 名	65 名	179 名
	合格者	14 名	34 名	25 名	73 名
全 体	受験者 (全体比)	45 名 (13.8%)	129 名 (39.6%)	152 名 (46.6%)	326 名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	21 名 (16.2%)	52 名 (40.0%)	57 名 (43.8%)	130 名 (100.0%)
	合格率	46.7%	40.3%	37.5%	39.9%

受験者	合格者	合格率
326 名	130 名	39.9%

※第 1 回～35 回までの累計の受験者属性につきましては、資格制度 Web サイトより、資格認定制度について > 過去の合格率（3 次試験）

([https://pr-shikaku.prsj.or.jp/about/pass\\_3rd\\_exam](https://pr-shikaku.prsj.or.jp/about/pass_3rd_exam)) をご参照ください。

## 第 36 回 P R プランナー資格認定検定試験

1 次試験を 8 月 10 日(土)~25 日(日)の 16 日間で実施

781 名の受験者が挑戦し、515 名が合格！

資格委員会

8 月 10 日 (土) から 8 月 25 日 (日) までの 16 日間で行われた 2024 年度後期 (第 36 回) P R プランナー資格認定検定試験 1 次試験では、927 名の仮申込、836 名の本申込があり、そのうち 781 名 (出席率 93.4%) が受験、合格者は 515 名 (合格率 65.9%) となりました。1 次試験受験者 (781 名) は、コロナ禍後初試験 (926 名) を除き、第 1 回 (752 名) を越え、過去最多を更新しました。

2007 年より実施している P R プランナー資格認定検定試験では、今回の第 36 回 1 次試験までの累計で、受験者は 16,757 名、1 次試験合格者は 12,379 名、合格率平均は 73.9% となりました。合格者は 11 月に 9 日間で実施する、第 36 回 2 次試験に受験することが可能となります。

ご協力いただきました関係者の皆様、大変ありがとうございました。

なお、今回の受験者、および合格者の受験者プロフィールは次の通りです。

### <第 36 回 1 次試験 業種別/年代別合格率>

		PR業/ PR関連業	一般企業 (広報PR関連)	一般企業 (その他)	各種団体	教育機関	自治体	学生	その他	全体
男 性	受験者	63 名	120 名	43 名	1 名	6 名	12 名	20 名	13 名	278 名
	合格者	39 名	91 名	32 名	1 名	6 名	9 名	8 名	7 名	193 名
女 性	受験者	118 名	250 名	64 名	13 名	7 名	7 名	29 名	15 名	503 名
	合格者	64 名	165 名	35 名	12 名	5 名	6 名	21 名	14 名	322 名
全 体	受験者 (全体比)	181 名 (23.2%)	370 名 (47.4%)	107 名 (13.7%)	14 名 (1.8%)	13 名 (1.7%)	19 名 (2.4%)	49 名 (6.3%)	28 名 (3.6%)	781 名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	103 名 (20.0%)	256 名 (49.7%)	67 名 (13.0%)	13 名 (2.5%)	11 名 (2.1%)	15 名 (2.9%)	29 名 (5.6%)	21 名 (4.1%)	515 名 (100.0%)
	合格率	56.9%	69.2%	62.6%	92.9%	84.6%	78.9%	59.2%	75.0%	65.9%

		20 代	30 代	40 代以上	全体
男 性	受験者	95 名	94 名	89 名	278 名
	合格者	52 名	76 名	65 名	193 名
女 性	受験者	246 名	150 名	107 名	503 名
	合格者	155 名	105 名	62 名	322 名
全 体	受験者 (全体比)	341 名 (43.7%)	244 名 (31.2%)	196 名 (25.1%)	781 名 (100.0%)
	合格者 (全体比)	207 名 (40.2%)	181 名 (35.1%)	127 名 (24.7%)	515 名 (100.0%)
	合格率	60.7%	74.2%	64.8%	65.9%

受験者	合格者	合格率
781 名	515 名	65.9%

※第 1 回~36 回までの累計の受験者属性につきましては、資格制度 Web サイトより、資格認定制度について > 過去の合格率 (1 次試験)

([https://pr-shikaku.prsj.or.jp/about/pass\\_1st\\_exam](https://pr-shikaku.prsj.or.jp/about/pass_1st_exam)) をご参照ください。



—模擬緊急記者会見を体験する実践的な基礎講座—  
「法的視点をふまえた危機管理広報と  
緊急記者会見シミュレーション・トレーニング」  
開催レポート

教育委員会

教育委員会は、去る9月3日に、「法的視点をふまえた危機管理広報と緊急記者会見シミュレーション・トレーニング」を開催しました。本講座は受講者の皆様が実際に模擬緊急記者会見を行う講座です。2023年度に開催した際に受講者様から大変好評をいただいたので、2回目の開催となりました。

開催日の直前まで日本列島に台風が近づいていたこともありヒヤヒヤしていましたが、当日はお天気に恵まれ、無事に開催出来ました。本講座の講師は西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 パートナー 弁護士の鈴木悠介先生です。元テレビ局報道記者としてのご経験もある鈴木先生から、企業が緊急記者会見を行う際のポイントをご解説いただき、いよいよ模擬緊急記者会見に向けての準備スタート！受講者様が4グループに分かれ、準備時間1時間ののち、ついに模擬記者会見が始まりました。模擬記者会見では実際にカメラで撮影し、鈴木先生と受講者様が記者役・PRSJスタッフがカメラマンとなり、本番さながらに実施。鈴木先生の鋭い質問を企業役の皆様が真摯に回答されていたことが印象的でした。

講座終了後のアンケートでは、「実際に前に立って役員の気持ちで話すのは初めてだったのでとても良い経験となりました。」「練習の機会がないが突然やってくる失敗できない局面なので、実践してFBをもらえてよかった。」といった声をいただいております。また開催出来たらと考えておりますので、気になっている方は次回ぜひご参加ください！

(教育委員会事務局 佐藤)



**【会員限定】****第6回「企業部会総会」開催報告****企業部会**

企業部会では、第6回「企業部会総会」を2024年7月3日、東京・銀座のグレースバリ銀座店で開催しました。

コロナ禍の中止やオンライン開催を経て、昨年からの制限がなくなり、今年は50人近く（33社47名、事務局4名含む）が詰めかけての賑やかな立食パーティとなりました。

**【会員限定】****第47回広報ゼミ開催報告****「企業のサステナビリティとコミュニケーション」****企業部会**

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会（PRSJ）では、PR業に携わる方のPR業務ならびにコミュニケーションスキルの向上を目的とし、“明日の仕事から使える知識を身につける”をコンセプトに「PRスキル研究会」を年に3～4回開催しています。幅広い業界から講師をお招きし、研修だけでなく意見交換の場としても活用できると、毎回好評を博しています。

**【会員限定】****第 52 回「PRスキル研究会」開催報告****「広報×AIの最新潮流を学ぶ  
～PR業務に生成 AI をどう活用するべきか～」****PR業部会**

第 52 回「PRスキル研究会」は、「広報×AIの最新潮流を学ぶ PR業務に生成 AI をどう活用するべきか」をテーマに、2024年7月24日（水）に会場・オンラインのハイブリッド形式で開催。会場は赤坂にある株式会社エイレックスの本社オフィスをお借りし、プラップノード株式会社のマーケティングマネージャー野中 透氏（写真右）、コンテンツマネージャー桃井 克典氏（写真左）をゲストにお迎えし、モデレーターは株式会社 PR Table の久保圭太氏が務めました。

**【正会員・個人会員限定】****第 231 回定例研究会****メディアの興亡 24 年夏～日刊工業新聞社編～****講師：日刊工業新聞社 取締役 ブランドコミュニケーション担当  
明 豊(あけ ゆたか)氏**

第 231 回定例研究会は、7月19日（金）開催しました。講師は日刊工業新聞社 取締役 ブランドコミュニケーション担当 明 豊氏。テーマは「メディアの興亡 24 年夏～日刊工業新聞社編～」でした。

## 協会掲載記事

- 8月1日(木) 『月刊広報会議』(宣伝会議)9月号  
『月刊広報会議』9月号における当協会の連載コラムで、3月26日に開催した「カナダ大使館訪問」の概要が掲載されました。  
コラムでは、当日の大阪・関西万博のカナダ政府代表を務めるローリー・ピーターズ氏によるブリーフィングの内容や、イベント後半の交流会の様子を紹介しています。
- 9月1日(日) 『月刊広報会議』(宣伝会議)10月号  
『月刊広報会議』10月号における当協会の連載コラムで、「PRアワードグランプリ 2024」のエントリー募集中ということ等報じられました。  
コラムでは、「PRアワードグランプリ」の趣旨や沿革、審査体制などについて簡単に紹介しています。
- 8月20日(火) 『企業と広告』株式会社チャンネル8月号  
『企業と広告』8月号において、当協会の理事長 山口 恭正氏のインタビューが2ページにわたって掲載されました。  
インタビューでは、協会の活動方針等について掲載されています。
- 8月20日(火) 『企業と広告』株式会社チャンネル)8月号  
『企業と広告』8月号のアド・トピックにおいて、当協会が毎年発表している実態調査について、掲載されました。  
記事では、手法の多様化を背景に市場規模が拡大しているという内容で2023年度の実態調査におけるPR業全体の売上高が2019年のコロナ禍以前と比較しても成長していること等が触れられています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

## ■ 会員便り

このページは会員の皆様から寄せられた情報をお伝えしております。  
※内容によって掲載についてご相談させていただく場合があります。

### 個人会員 三上毅一様より

『広報のプロが教えるメディアのトリセツ—取材獲得への5ステップ』を5月1日刊行



広報・PR業界に入り40年の著者。これまでに500社以上の広報コンサルティングの実績を持つ。“広報の現場”を熟知したベテラン広報パーソンが、これを実践すればメディアとのコミュニケーションが成功する5つのステップを紹介。

広報・PRの世界には“一発逆転”はないが、新聞、雑誌、TV、ネットメディア別に、コンタクト方法から取材獲得までの効果的なアプローチ方法を解説しています。これまでの類似書は著者視点のみの一方通行的なものでしたが、第一線で活躍するメディア関係者から聞いた、情報の受け手側の視点も網羅しています。

その他に、ジャーナリスト・池上彰氏が、広報・PRに対する心構えや情報の正しい捉え方など「正しい伝え方」についてインタビューし、特別巻頭で紹介。池上氏が広報・PRの視点でコメントされたのは初めてとなります。

激変しているメディア環境の中、メディアが求めている情報とは何か、広報・PRの役割である「正しく伝える」ことの重要性を、広報初心者でも分かりやすく解説しています。

なお、全国の公立図書館約350か所にも納入されています。

#### 主な内容

巻頭インタビュー 池上彰氏と考える広報の「伝える力」

第1章 広報・PR活動を正しく理解する

第2章 メディアが広報・PRに求めるものを知る

インタビュー①松林 薫氏（元日本経済新聞社記者/ジャーナリスト）

インタビュー②原 隆氏（日経ビジネス電子版編集長）

インタビュー③松林浩司氏（(株)新聞編集センター代表取締役/「定年時代」編集部長）

インタビュー④山口 圭介氏（週刊ダイヤモンド前編集長）

インタビュー⑤清水俊宏氏（フジテレビジョンニュース総局報道局報道センター部長職プロデューサー）

インタビュー⑥金泉 俊輔氏（NewsPicks Studios 代表取締役 CEO/元 NewsPicks 編集長）

第3章 広報・PR活動を進めるための土台を作る

第4章 自社の情報をプレスリリースに落とし込む

実例1 新商品紹介/実例2 商品やサービスの紹介/実例3 実績を紹介

実例4 人材採用・福利厚生を紹介/実例5 資金調達

第5章 準備した情報を売り込む いざ、メディアにアタック！

広報・PRの作法/新聞社へのアプローチ/テレビへのアプローチ/出版社

（雑誌掲載）へのアプローチ/Webメディアへのアプローチ

#### <書籍データ>

出版社：(株)中央経済社

著者：三上毅一

発売日：2024年5月1日

定価：2,530円（税込）

体裁：A5判

※本書に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

(株)中央経済社 営業部 03-3293-3381（営業代表） [/info@chuokeizai.co.jp](mailto:info@chuokeizai.co.jp)



事務局の青田です。

夏休みはいかがでしたか？猛暑にやられてグッタリという方も多いのではないのでしょうか？ご自愛くださいね。

とはいえ9月に入り、協会活動も一気に再開しています。各部会・委員会では新体制の幹事・委員のもとで、活動の進め方や基本ルールを確認しながら、今年度の計画を着実に実行すべく活発な話し合いが行われており、この先が楽しみになってきました。みなさんも直近の交流会やセミナーにドンドンご参加ください！

## ■PRプランナー1次試験の受験者数が過去最高を記録！！（第36回1次試験）

嬉しいニュースです！8月に実施したPRプランナーの1次試験の申込者が836名（会員244、一般538、学生54）と、コロナ禍による試験休止後の変則的な回を除いて過去最高となりました。地道なプロモーションを通じて受験層のすそ野が拡大し、社命により多数の受験者を出して下さっている会員社も増えています。

1次試験の合格者数が2次試験の母数になり、3次試験へとつながりますので、これは事業の収支としても非常に大きいことです。

会員のみなさまが“やりたいこと”を協会活動として実現するためにも、さらなるご協力をぜひともお願いします。

## ■大学生とのコラボを企画中！！（広報委員会）

夏休みの最中に文京学院の学生さん2名が事務局に訪れ、自分たちが企画・実施した「ステマ研究・調査」の説明をしてくれました。実際のSNSコンテンツを独自の評価項目により査定した結果、「7割がステマに該当している」というショッキングな結果となったそう。これはおもしろい。協会内で情報共有するとともに、協会サイトで何等かの発信ができればと思います。

また、先日、上智大学の国枝先生と学生さん数名が事務局にいらっしゃり、広報・PRに関して協会とコラボができないかというご相談がありました。大いに結構、大歓迎ですね！

現在、広報委員会できろいろと企画中です。ご興味のある方は事務局にご連絡ください。

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・希望をお寄せください。

中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

広報委員会

Eメール [mail@prsj.or.jp](mailto:mail@prsj.or.jp)

※禁転載

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6-2-31 六本木ヒルズノースタワー5F

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-12-12 東京建物梅田ビル 12F